

金沢大学のテニュア・トラック制度

金沢大学では、これまでに3種類のテニュア・トラック制度が実施されています。それぞれの概要を簡単に説明します。

テニュアトラック制：公正で透明性の高い選抜により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積むことができる仕組み

フロンティアサイエンス機構のテニュア・トラック

文部科学省「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業の採択を受けて本格実施。平成18年度から始まったこの事業は、22年度までに金沢大学（新領域創成をめざす若手研究者育成特任制度）を含む42プログラムが採択され、それぞれの大学に適したテニュア・トラック制度が検討・実施されています。金沢大学は平成19年にこの事業に採択され、今年が最終年度にあたります。

FSO所属型 2制度（准教授TT，助教TT）

対象とする学問分野：金沢大学の重点推進研究分野

特任准教授：5名

特任助教：3名

目的：独立した研究環境を提供し、独創性の高い研究活動を展開

特任准教授：

研究費：本人人件費込み渡しきり3,000万円/年(5年間)

スペース：130 m²

特任助教：

研究費：300万円/年(5年間)

スペース：50 m²

これまでの経緯

平成18年11月 国際公募（大学経費による取り組み）

平成18年12月 選考

平成19年6月 国際公募（事業経費による取り組み）

平成19年8月 国際シンポジウム、公開セミナー開催と選考

平成21年3月 中間審査の実施

平成22年5月 最終審査の実施

FSO所属型TT教員の審査基準

中間評価：

審査委員会（学内）がこれまでの研究活動全般をレビューし、コメントする。

（A：順調，B：要努力，C：相当の努力が必要）

最終審査：

研究成果（発表論文）についてはピアレビューアー（学外）による評価を行う。それ以外の5年間の研究活動（達成度、客観的成果）や研究室マネージメントについては審査委員会（学内）で評価する。ただし、審査ではピアレビューが最も重視される。最終判定は審査委員会が行う。

准教授

(1) 当該分野における研究の重要性、独創性（ピアレビュー）

(2) これまでの研究成果全般（受入部局の昇任基準）

(3) 研究計画の達成状況、研究室マネージメント

助教

(1) 当該分野における研究の重要性、独創性（ピアレビュー）

(2) これまでの研究成果全般（受入部局の昇任基準）

(3) 研究計画の達成状況

3名のピアレビューアーを選び、書面による評価をしていただきました。

部局所属型のテニユア・トラック

大学の重点研究分野に限定した FSO 型に対し、学内の研究活動の活性化とテニユアトラック制度の普及を目的として導入された制度です。制度の導入を希望する部局が公募・選考・審査を行います。ただし、選考にあたっては、研究国際企画会議からも審査員を派遣することとします。

平成 23 年度からこの制度は研究域内研究センターの若手教員採用にも導入されました。これを受けて、理工研究域のバイオ AFM 研究センターとサステナブルエネルギー研究センター及び人間社会研究域地域政策研究センターで実施されています。

部局所属型（助教 TT）

対象：全学（年間 4 名程度）

目的：テニユア獲得という明確な目標の下で研究活動に専念し、研究能力の向上を図る。

- ・ スタート時に部局の助教ポストを用意し、5 年後の審査を経た後の准教授ポストを部局が保証
- ・ テニユア・トラック期間中は年俸制
- ・ 大学が助教に初年度スタートアップのための研究費として 300 万円、2 年目以降は研究費 200 万円を配分
- ・ 大学が部局に対し、インセンティブ経費として 150 万円、2 年目以降 50 万円を配分

これまでに部局では 5 名を採用。域内センターでは 6 名採用（予定を含む）。

テニユア・トラック普及・定着事業による取り組み

平成 23 年度から始まったこの「テニユアトラック普及・定着事業」（科学技術人材育成費補助金）には理工研究域の申請が採択されました。23 年度 4 名、24 年度 3 名の TT 教員が採用されます。この事業では、若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、ラボの立ち上げ経費（初年度：1,000 万円、2 年度目：500 万円）の支援を主な目的としています。そのため、採用年度とその次年度の 2 年間スタートアップ経費の支援を受けられます。さらに、全国の採用者の中でも特に優秀な研究者に対しては、5 年間（1,500 万円 / 年）の研究費支援が行われます。

当該事業実施の要件

- ・ 国際公募を実施すること
- ・ 第三者を含めた公正な選考を行うこと
- ・ 公募時に中間並びに最終審査基準を明記すること
- ・ 任期終了後のポストを用意すること
- ・ 自立した研究を行えるスペースを用意すること

部局単位での申請です。FSO が申請のお手伝いをいたします。申請を検討されている部局長の方は、まずはお相談下さい（申請締切は 5 月 7 日です）。

金沢大学のテニユアトラックのルールがより導入しやすいものになりました !!

平成 23 年 3 月からテニユア・トラックに関する規程が改正されました。主な変更点は次のとおりです。

1. 「昇任」、「退職」以外に「昇任なしのテニユアの獲得」を追加
2. 部局の判断で 5 年終了後、3 年を限度にテニユア・トラック機関の延長が可能
3. 前職からの退職金が通算される身分に変更
4. 自立した研究環境を保證するかわりに、「管理運營業務免除」を削除

平成 20 年に実施したアンケート調査をもとに、導入しやすい制度とするために検討を重ね、このような変更に至りました。